



自然科学系 准教授
久保田 喜裕 KUBOTA Yoshihiro

専門分野 資源・環境・災害地質学、テクトニクス

共通・他の領域

新潟は大丈夫か ～ 越後平野西縁断層帯とつぎの大地震 ～

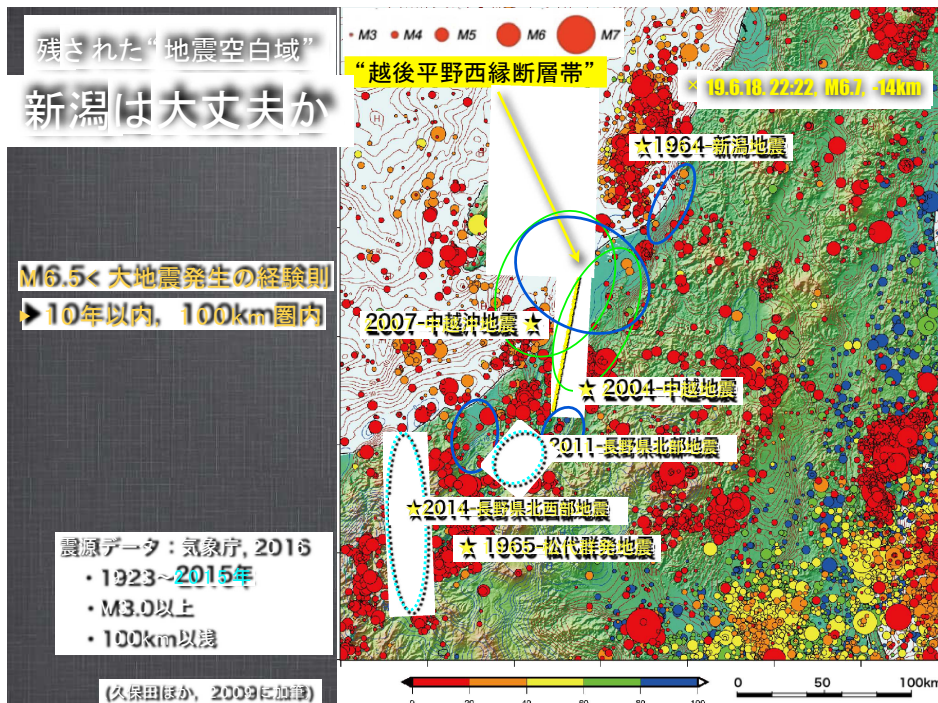
キーワード 大地震、信濃川変動帯、越後平野西縁活断層帯、地震の空白域

研究の目的、概要、期待される効果

信越地域の千曲川～信濃川流域はかつてから大地震が繰り返し発生しており、近年でも2004年中越地震(M6.8)、2007年中越沖地震(M6.8)、2011年新潟長野県境地震(M6.7)、そして2019年6月18日にも新潟・山形県境地震(M6.7)であらたな大地震が発生しています。

信濃川流域は新第三紀以降、現在もなお激しい沈降と隆起が続いている場で、近年頻発している大地震はその変動の発現です。その意味で、この流域を「信濃川変動帯」と呼んでいます。(久保田ほか 2014)

一方、新潟大学周辺は現在“地震の空白域”(下図の青楕円)になっており、付近には弥彦・角田山地の東麓から延長する「越後平野西縁活断層帯」が走っています。(下図、久保田ほか 2009) 将来この断層が再活動した際には、M8クラスの巨大地震が想定されています。(地震調査委員会 2004) 大学は、新潟は、大丈夫なのでしょうか。



関連する知的財産論文等

- 新潟・長野県境 関田山脈南麓のサギング地形とその地質的要因。久保田喜裕・吉越正勝・原田郁夫・小林和宏、2014、地団研専報60、地学団体研究会、143-160。
- 北部フォッサマグナ信濃川地震帯の震源分布と構造規制。久保田喜裕・小林和宏・飯川健勝・島弧深部構造研究グループ、2009、地球科学、63、211-223。

アピールポイント

地質災害への防災・減災に寄与していきます。

つながりたい分野（産業界、自治体等）

・地質災害への防災・減災に取り組んでいる国、自治体等